

## その他の重点事業

事業名	事業内容	事業費	備考
<b>都心部3小学校跡施設・跡地の活用</b>	平成16年3月に閉校した都心部3小学校（豊水、曙、大通）について、市民や地域住民等との協働のもと、跡施設・跡地の有効活用を図ります。	—	
<b>広域的連携モデルの構築事業</b>	道都としての先導的役割を担うとともに、地域同士のつながりを強化することを目的として、広域的連携のモデルとなる、地域独自の資源を活用した先進的・実験的な取り組みを行います。	20百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サマータイムの社会実験</li> <li>● 美味しいまちづくり調査事業</li> </ul>
<b>市民自治推進事業</b>	市民自治を推進するためのプランを策定するとともに、市民自治のしくみづくりについて考える市民会議が中心となり広く市民の自治意識の醸成を進め、その成果として自治基本条例を制定します。	33百万円	
<b>安心・安全なまちづくり推進事業</b>	「安心・安全なまちづくり」という視点での施策展開の検討を進めるため、積極的な取り組みを行っている自治体の状況や、市民の現状認識・意向などについて調査を行います。	—	
<b>高齢者のための施設の整備</b>	介護や日常生活上の支援を必要とする高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホーム、老人保健施設、ケアハウスの整備を進めます。	3,130百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別養護老人ホーム 新設6カ所（北区、厚別区、豊平区ほか）</li> <li>● 老人保健施設 新設5カ所（北区2カ所ほか）</li> <li>● ケアハウス 新設1カ所</li> </ul>
<b>第2斎場の整備運営</b>	高齢化の進行に伴う火葬需要の増加への対応、市民の利便性の向上、災害などに備えた施設の分散化を図るため、（仮称）札幌市第2斎場を整備します。	1,458百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 18年4月開設</li> <li>● 火葬炉29基、焼却炉1基</li> <li>● 整備・運営は、民間の技術や経営能力を活用したPFI手法を導入</li> </ul>
<b>サッポロさとらんど整備事業</b>	「人と農業・自然とのふれあい」「都市と農業の共存」を目的として、札幌市農業体験交流施設（サッポロさとらんど）を整備するとともに、集客交流に向けたソフト事業を検討、実施します。	358百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 供用済 I期エリア(34.4ha) II期エリア(32ha)</li> <li>● 17年度供用開始 III期北西エリア(4.3ha)</li> </ul>

事業名	事業内容	事業費	備考
消防施設改築	災害発生時に防災活動の拠点となる消防施設のうち、老朽化の著しい施設を改築します。	365百万円	●16年度 山鼻出張所
放火火災防止対策の強化	放火の防止に効果のある炎感知器を町内会に対して一定期間貸し出し、自主的に管理してもらうことを通じて、地域ぐるみでの放火防止活動の取り組みを広げます。	4百万円	
救急業務高度化推進事業	救急業務での救命率の向上を図るため、救急救命士による気管挿管や薬剤投与など、高度な救命処置の実施に必要な技術講習や機材導入を進めます。	143百万円	
救急車の配置の充実	増加する救急需要への対応や救急活動の迅速化、救命率の向上を図るため、救急車の配置を増やします。	82百万円	●追加配置 2台
地域住民および関係諸団体との協働による東区地域防災対策推進事業	地域住民や諸団体と行政が協働で、災害時における住民の行動の指針となる「東区地域防災計画」を策定することにより、防災の課題を共有化し、自主防災組織の活動を通じて住民の主体的な防災活動を推進していきます。	5百万円	
学校施設改築事業	児童生徒の安全確保と教育環境の改善を図るため、耐震性能が低く、老朽化が著しい学校の改築を計画的に進めます。	9,377百万円	●手稲東小学校 (17年4月新校舎開校) ●円山小学校 (18年4月新校舎開校) ●信濃小学校、伏見中学校 (19年4月新校舎開校)
学校施設耐震補強事業	児童生徒の安全を確保するため、耐震性能が低い学校の耐震補強を計画的に進めます。	183百万円	●中央小学校ほか2校の耐震補強設計、補強工事